



ゴードンR.マッキナリー会長

酒井法丈ガバナー

山本雅久会長

RIテーマ

地区方針

クラブ方針

CREATE HOPE in the WORLD
世界に希望を生み出そう

培おうプライド、育もうブランド、
そして未来へ!!

輝こう! 豊橋ゴールデンロータリークラブ
~我がクラブの志と共に~

第28回(通算1642回)例会報告

令和6年2月16日(金)

フォーラム「国際奉仕」

出席報告

総会員数58名(計算会員数48名)欠席8名出席率83.33%前々回修正出席率86.27%

歌/会場

それでこそロータリー

会場:ロワジュールホテル豊橋 30F「ル・モン」12:30~

会長の時間

山本雅久会長



第27回の例会を取り始めさせていただきます。本日は国際奉仕のフォーラムです。皆さんの活発なご意見を頂戴して意義ある奉仕活動になりますようご協力よろしくお祈りします。

次に、先日の日曜日に開催された豊川ロータリークラブの65周年が豊川稲荷で開催されました。東三河分区の全ての会長・幹事がお祝いに集まり、東三河におけるロータリーの活動が従実したものととなりますよう祈願させていただきました。最後に、国際奉仕活動に皆様のご理解とご協力を賜りますようよろしくお祈りします。

誕生日祝い

お誕生日おめでとうございます!

宮川嘉隆会員



入会記念日祝い



岡本久永会員

浅井大介会員

フォーラム「国際奉仕」

神谷 馨ロータリー情報委員長



本日は奉仕の第4部門である国際奉仕フォーラムです。世界情勢が近年にない大変困難な状況に置かれておりますが、国際理解・親善・積極的平和を推進するためにできる活動を会員で話し合い、有意義なフォーラムになりますようよろしくお願いいたします。

フォーラムリーダー 鈴木紳昭国際奉仕委員長



先週に引き続き、今週も国際奉仕委員会の担当例会となります。

先週の卓話では、「NGUYEN THI MINH KHAI 学校」の問題点を様々な視点から問題点を発表しました。

今回のフォーラムでは、ロータリーの7つの重点分野を踏まえて「NGUYEN THI MINH KHAI 学校」でどのような奉仕活動を創造できるか幅広い世代で活発な意見をお願いいたします。

また、会員皆様の意見については会報にて報告させていただきます。よろしくお願いいたします。

*「NGUYEN THI MINH KHAI 学校」→「グエン ティ ミン カイ学校」

1番テーブル

井上 穂会員



このテーブルには牧野政雄会員、山本雅久会長、鈴木 愛職奉仕委員長、伊藤角栄 青少年奉仕委員長、議事録作成担当の当方、井上 穂 の5名の会員でディスカッションしました。



冒頭 鈴木紳昭国際奉仕委員長から「フォーラムテーマ」について、ロータリーの重点分野として、7点、「平和構築と紛争予防」「疾病予防と治療」「水と衛星」「母子の健康」「水と衛生」「基本的教育と識字率向上」「地域社会の経済発展」についての奉仕事業をみんなで、アイディアを出し合い、進めてまいりましたが、議論が進まなかったため、目先を変え分かりやすく 2000 年当初、取り組んだ世界社会奉仕 WCS (World Community Service) の事業の目線で考えてみましょうと進めました。ベトナムの小・中学校の支援については現状実態の把握が必要ではないかとなりました。ベトナムに旅行やビジネス等で訪問された会員は、「今のベトナムには貧困を感じない、自国の製品があふれている社会だった」

会員の意見は、水、タオル、靴、サンダルまた自転車などの提供を考えたら、良いと思うとの意見もでした。また、絵本、図鑑、クレヨン、色鉛筆、日本の文房、書籍などの提供は子供達に「夢」を与えることが出来ると考えます。ベトナムの学校の当局者と詰め、可能な物資を日本から持って行くのではなく、現地で調達し取り組んでいくようにすべしで、ベトナムに「世の中ため、人のため」にと、奉仕事業展開ができればいいと思いますね。

2 番テーブル

青木一臣会員



国際奉仕事業を通し、新たに『環境』を含めた 7つの重点テーマを指針とした今後の取り組み案とし、国際奉仕をする上で軸となる前提は、金銭の募金や必要な物資の供給のような一過性の支援ではなく、支援そのものが育っていき、また持続し形や習慣として残るような奉仕が理想ではないかと考えます。

比喻表現になりますが「魚を与えるのではなく、魚の釣り方を提供する」。豊かな環境づくりの結果を与えるのではなく、環境づくりのためのプロセスとなる仕組みを提供できるようにイメージで実行できればと思います。

昨年の国際奉仕事業で行った、手洗い、石鹸、ハンドタオルの提供、並びに手洗いの大切さの教育、正しい手洗いの方法の指導など、まさに物資の提供だけでなく、物資を使用しその後、現地の方々の手洗いの大切さに気づき、手洗いを習慣化させ、事業取り組み後、『公衆衛生のリテラシーが向上する』このような取り組み自体が、ロータリークラブの事業終了後も、現地で引き継がれ育っていくような取り組みを今後も行えればと思います。

具体的な案とし、現地の小中学生たちは、学校に行くまでの道のりが、とても遠くかなり時間を要するようで、交通手段として自転車を提供し、通学の時間を短縮し、短縮した時間を有意義な時間に振り替えていただく。

自転車はすぐに壊れるものではないので、事業の継続性が見込まれる。

他には、少し壮大にはなりますが、リーダーを育てるような環境を提供する、例えば、姉妹ロータリークラブを作り人自体を育てる。

このような事業が手離れた後もその支援自体が継続していくような支援活動を行えればと思います。

3 番テーブル

山下 孝会員



テーブルリーダー：鬼頭秀幸

書記役：山下孝

(敬称略)

<鬼頭秀幸テーブルリーダーより>

⇒ベトナムの学校の各種課題(※)について我々ができることはないか？

※) 家計の問題(貧困)、遠距離を徒歩で通学しており危険が多い問題、識字率の問題など、左記問題が総じて留年・退学してしまう問題

<石原聖季>

⇒ゴミのポイ捨てが気になる。ゴミ箱に捨てる概念がないのか？教育の問題。ゴミ箱を設置するだけではだめで、捨てるのが大切だと教えていく必要がある

<中村彰宏>

⇒基本的な問題と思われるが学校へ行く以前の問題があるのでは。お金がない、貧困な人が多いので学校をやめて働かないといけない状況になっているのでは。徒歩で 5~10 kmの通学は大変だし動物に襲われるという危険もあるのでは。

ある程度物資を寄付していかないといけない。また学校の数が少なく遠距離通学となってしまうのも問題

⇒多くのベトナム人が日本に研修に来ているが、優秀な方が多い。日本への研修生をしっかりと教育して帰国してもらい、基礎を作ることが必要

<山口幹夫>

⇒父親世代の時にドイツ人のホームステイを受け入れたら、シルクシャークという繊維ビジネスから通産大臣賞を受賞し、自分は 60 日間の世界一周の旅に出かけることができ、交流が続いている。やはり資金的な支援をしていくのが必要でさまざまな見識も広がる。

<小久保拓吏>

⇒道徳を世界に広めていく。貧困に対してどう道徳を伝えていくのか。

⇒またそもそもベトナムの子供たちが何を求めているのか？それを聞いてみたい。望まないものを与えてもいけないし押し付けは良くない

<山下孝>

⇒通学が大変であることについては、物資の支援が必要で、



日本で放置されているような中古の自転車寄贈すればよいのでは。また中古の通学用のバスも寄贈する。お金での支援夜も物資がよいのでは

⇒ゴミのポイ捨てについては、日本やシンガポールなどゴミ箱に捨てる習慣があり街がきれいな国の動画を見せて教育することもある

<鬼頭秀幸>

⇒自転車のパンクした場合に修理が出来るのか？修理代が高いのではないか。そういう技術があるのか？

⇒ベトナムには一体何校の学校があり、貧困の人口はどれくらいなのかははっきりわからない中でどこまで支援が出来るのか見えない

⇒ベトナムの日本学校を見てみると日本への出稼ぎは魅力的ではあるが、最近では少なくなっているようだ。円安もあって稼ぎが目減りしているのも要因

⇒真の貧困は見えていないし、日本にも貧困世帯が一定数いるがレベルが違う

⇒親の教育も必要ではないか。三世代貧困が続くと子供を働かせるしかない親が学校に行かせない状況では

<石原聖季>

⇒25年前ベトナムに行ったが、バイクにあふれ交通ルールもはっきりしない。若い国・人口増、いずれ日本を逆転していくのでは？その前にインフラ整備をどうしていくのか

<中村彰宏>

⇒ベトナムに行ったことがないが、貧困をなくすには、日本企業がベトナムに進出して様々な技術を教えていくことも大事。パンクの修理の仕方とか、働き口を作っていくことが必要

<鬼頭秀幸>

⇒日本は昭和 30 年代の高度経済成長で大きく変わった。さらに万博を機に貧困から脱出した感がある。物を作ればすぐ売れる。そういう転機が必要

⇒ベトナムにはロータリークラブがない。祖先を敬うとか奉仕の考えがまだないのか。

⇒やはり自転車などの物資面の支援が必要ではないか

4 番テーブル

廣濱成一会員



テーブルリーダー 今川テーブルリーダー

ディスカッション

田舎で言語が通じない、同じ国でも地域（少数民族）で会話ができない。

意思疎通が取りにくい。コミュニケーションが取りにくい

多数の人がどういう気持ちでいるのか？を知りたかった。

多数の人が困っている問題点を知ってみたい。

学校に通えるだけでも幸せを感じる。

何が支援できるのか？学校に通えるように（お金・通学・生活優先）してあげたい。

ベトナム語（標準語）が、他民族にも通じるのか？

学校を分散して行きやすくする政策はできるのか？

ベトナムには良く行きますが、貧富の差や言語の事や教育状況を知らなかった、何を支援するか？そもそも知ることから。知らない支援が定まらない

通信環境を整えて教育が届くと感じる。教育の格差が縮まるのでは

社会主義の統治下で抑えつけられている。

少数民族の方は自身の部族のポリシーがある。それを残したい。

生活環境が劣悪。生活環境（水）などの支援

通学に歩きで勉強する時間が少ない。家の手伝いが最優先

めっちゃめっちゃ田舎でも、かなりの確率の人々がスマホを持っている

Wi-Fi 環境の更なる整備をして、学校に行かなくてもスマホで自宅でも勉強できる整備を

まとめ

学校側が何欲しいのか？知りたい。（自転車・バイクなど）以前に当クラブで提供した救急車中古は盗まれてしまった。盗まれたら意味がない。

インフラで何が手軽にロータリーにできるのか？井戸を掘る（飲める水）ろ過機の提供

「出来る事からやる」

5 番テーブル

飯野益通会員



フォーラムテーマ

- ・卓話で紹介した「NGUYEN THI MINH KHAI 学校」ではいろいろな問題があります。
- ・ロータリーの7つの重点分野を踏まえて「NGUYEN THI MINH KHAI 学校」でどのような奉仕活動が創造できるか幅広い世代で活発な意見をお願いいたします。

杉田リーダー 本多 岡本 牧 大林 飯野

- ・7つの重点分野確認「平和構築と紛争予防」「疾病予防と治療」「水と衛生」「母子の健康」「基本的教育と識字率向上」「地域社会の経済発展」「環境」
- ・先週の卓話のおさらいDakLak省 NGUYEN THI MINH KHAI 学校は「少数民族」、「識字率が低い」「貧しい家庭が多い」「通学に片道1~3時間」「生徒数400人くらい」「60%少数民族」など



- ・トイレ事情など水と衛生の問題がある 昨年保永委員長の石鹸を届ける活動参考に
- ・学校に通いやすくするためのインフラ整備
- ・基本的教育、識字率を上げること
- ・貧しさ、不登校、物質的貧困などの問題解決
- ・衣食足りて礼節を知る というようにまず生活を整えるためにできること
- ・現地の意見をひろいあげて安全地帯にいる私たちができることを探す
- ・通信教育ができる環境整備
- ・共産主義国におけるロータリークラブ開設の応援 (実際はベトナムにもサイゴン RC がある様子 ほかに 5 つの RC あるかもしれない=バンコク RC 関与? ローターアクトは存在するが親クラブ不明)
- ・仕事と収入の確保が必要
- ・平和維持必要 破壊活動(戦争)は全てを遅らせてしまう (プーチンに 4 つのテストを理解させる)
- ・ロシア、中国、北朝鮮にロータリークラブはあるのか?
- ・通学用バスの提供 自転車の提供
- ・教科書の提供 (識字率や多様言語の問題で困難)
- ・学校をつくる
- ・少数言語の保存活動
- ・娯楽 映画や紙芝居などから集まる場所をつくる 文化的活動から教育へ
- ・現地へ行くことが奉仕(ひとりよがりではいけない)
- ・補助金セミナーで勉強する

- ・ 部落ごとに言葉が異なるとの事なので、統一言語教育の推進活動
- ・ 経済の活性化に繋がる活動が理想的
- ・ 水汲み等の作業により子供の学習の機会が損なわれているなら、簡易井戸の設置も検討
- ・ インフラ整備や物的支援の場合は、メンテナンスも考慮した奉仕活動が理想
- ・ 農業、工業の技術支援のニーズが高いのでは
- ・ 委員会の活動としては、幅広い活動は効果的でなく、目的を絞り込んだ活動が理想
- ・ 海外での活動に絞らずに、日本にいる外国の方たちへの支援も有効である
- ・ 米山奨学生達から海外でのニーズを聞く機会があっても良いと思う
- ・ 日本の銀行、役所のシステムが海外の方には複雑であるため、海外のスタンダードなシステムに近づけることが出来ると、日本での就労者増加に繋がると思う

6 番テーブル

鈴木雅人会員



- ・ 通学時間の短縮による、学習時間の増加に繋がる活動
- ・ 通学が困難な場合でも学習が出来るようにリモート学習環境の整備をする

7 番テーブル

尾崎雅輝会員



【教育を受けられる環境の整備】

近くに学校をつくるのも一案だが1つのロータリーでは資金的に厳しい。やはり交通手段の支援により、教育を受けられる機会の確保が重要ではないか。そこで、通学用の自転車の支援を提案する(小学生の35%が自転車通学、ベトナムは中古は受け入れ不可、現地購入となる)。しかし、一度だけでの支援では持続的ではないので、本市の特徴を活かした農業支援によって親の仕事を支える方法を模索する。例えば、ベトナムに在中していた JETRO 職員など本市の市役所の職員らと意見交換をし、農業の技術指導支援の方法を模索する。その他の案、衛生面の応援(石鹸等トイレの衛生)、奨学金制度。少数民族とキン族との間に紛争もあるため、紛争予防についても長期的な視点で考える必要がある。

★ニコボックス

山本雅久・高井龍雄：フォーラム「国際奉仕」です。活発な意見をください。

宮川嘉隆：誕生日をお祝い頂き。

岡本久永・浅井大介：入会記念日をお祝い頂き。

浅井大介：出席報告をさせて頂き。

神谷 馨：国際奉仕フォーラムです。よろしくお願ひ。

鈴木紳昭：国際奉仕フォーラムです。活発な意見をよろしくお願ひ。

井上 穂・杉浦宏始・杉田和俊・

辻 信之・鬼頭秀幸・今川明彦：テーブルリーダーをさせて頂き。

鈴木 愛：職業奉仕フォーラムでは誠にありがとうございました。会報を拝読し感激しました！

山口幹夫：会員の送迎応援に感謝しています。

尾崎雅輝：バッジを忘れました。

鈴木雅人：ニコボックスを発表させて頂き。

鈴木雅人ニコボックス委員

★他クラブの例会変更

■2月27日(火) 宝 飯 RC 職場見学会

■2月28日(水) 渥 美 RC 免々田川菜の花桜まつり (サイン 24日 桜祭り会場)

■3月1日(金) 蒲 郡 RC 創立70周年記念事業例会

■3月5日(火) 田原パ RC 渥美 RC 合同花見例会

■3月6日(水) 渥 美 RC 免々田川菜の花桜まつり (サイン 2日 桜祭り会場)